



# 神戸女子大学附属高倉台幼稚園



## 第45回 運動会

「やさしい心をもち、主体的に行動する子ども」を育てることを教育目標に掲げる神戸女子大学附属高倉台幼稚園ではその成果を保護者に発表する場として、園児の発達に応じ、家族も参加しともに楽しめる運動会を開催しています。

平成29年10月8日（日）神戸女子大学須磨キャンパスのグラウンドで未来を担う子どもたちがさまざまな競技に挑戦し、やりぬく力を主体的に身に付けることを目的として第45回高倉台幼稚園運動会を開催しました。

全園児168名と2歳から3歳の未就園児「にこにこクラブ」の40名が秋晴れのもと、それぞれの競技で生き生きとした姿を見せました。

年少組は障害物を乗り越えゴールをめざす「出発進行！ハッピーたんけんたい！」と保護者をめざして走る「笑顔戦隊 ハシリエンジャー」、年中組は全力で走る「キラキラスマイル☆レッツゴー」と心をひとつにパラバルーンを扱う「めざ

せ！パラバルーンマスター！」、年長組は足にまめをつくりながら練習をしていろんな技を披露した「ゴーゴー☆竹馬」とクラス対抗のリレー「走れ！パワフル年長組」の競技で保護者に成長した姿を見せました。

「にこにこクラブ」の子どもたちが無理なくできる種目、保護者は綱引き、おじい様とおばあ様は玉入れに参加できるなど、家族の絆も深まる運動会となりました。

また、神戸女子大学文学部 教育学科4年生の幼児教育コースを履修している学生80名は、教育実習の一環として運動会の準備を行い当日のスタッフとして参加しました。

教育実習は4月から同園で始まっており、園児が成長していく過程を見守りながら実践的に幼児教育を学んでいます。将来、幼稚園・保育園・こども園で活躍するために運動会当日だけではなく計画、準備段階からこの行事に参加できたことは、貴重な体験となりました。

